



● 草の根パートナー型

平成24年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	スリランカ
2. 事業名	スリランカ北部地域における就学前教育支援事業
3. 事業の背景と必要性	スリランカでは、2009年5月まで25年以上にわたり、北・東部の分離独立を目指して活動していた反政府武装勢力と、政府の間で紛争が続いていた。特にムライティブ県は2008年の夏から戦闘終結される2009年5月までの激戦地となり、教育施設を含む社会的インフラが壊滅的な被害を受けた。北部地域での小・中学校の建設・修復、教員研修など教育支援事業は各ドナー、国際機関、NGOが実施しているが就学前のケアへの支援に関しては、国際機関や北部州政府もその必要性を国際社会に対し呼びかけているが、就学前教育のニーズに対し支援が行き届いていないのが現状である。多くの就学前教育（以下ECCD）センターが戦乱の中で崩壊・荒廃したため、仮設テントや近くの建物を借りて授業を行ったり、屋根がなく壁が壊れた施設の中でそのまま授業を行ったりしている状況にある。そのため、当該地域の子どもたちを取り巻く環境は安全や安心とは程遠い。ECCDセンターの教員の質についても政府が定める基準に達していないことも多く、子どもたちは適切な環境下でケアを受けることができていない。本事業では、（1）子どもにやさしい教育環境を整え、（2）栄養に関する知識を保護者と教員が持って補助食を提供し、（3）保護者・コミュニティ・行政が就学前教育に対する正しい認識を持つことを通じて、就学前教育の質を高めることで、子どもの健全な発達を促進し、ひいては北部復興の人材育成の礎を作ることを、当事業の実施を通じて目指している。
4. プロジェクト目標	子どもにやさしい就学前教育（ECCD）の環境を整えることにより、対象地域の子どもたちの健全な発達を促す。
5. 対象地域	スリランカ北部州ムライティブ県
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	3～5歳の子ども（20村）：4,204人、子どもの親（20村）：2,000人 ムライティブ県ECCD教員：220人 ECCD運営委員会（20村）：120人、ムライティブ教育局：15人
7. 期待されるアウトプット及び活動	<アウトプット> 1. ECCDの教育・教員の質が向上する。 2. ECCD教員および保護者の就学前の子どもたちに関する栄養の知識が向上し、子どもたちの健康が増進される 3. 対象地域において、行政の連携の下、コミュニティのECCDセンターに関する理解が高まる。 <活動> 1-1. ECCD教員への「子どもにやさしい教授法」研修 1-2. 行政と連携したECCD教員資格コースの実施 2-1. ECCDセンターに通う子どもの保護者への栄養・衛生講習会 2-2. ECCD教員への栄養・衛生研修 2-3. ECCDコミュニティガーデンでの野菜/果物/穀物の栽培と収穫物を活用した補助食提供 3-1. コミュニティを対象にした就学前教育研修 3-2. ECCD運営委員会マネージメント研修 3-3. ムライティブ教育局へのモニタリング研修
8. 実施期間	2013年11月1日から2016年9月30日（2年11か月）
9. 事業費概算額	47,806千円
10. 事業の実施体制	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとスリランカが協働し、現地のカウンターパート機関（ムライティブ教育局）とともに実施する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
2. 活動内容	東南アジア、アフリカ・中東地域など、9カ国に日本人駐在員を配置し、子どもの権利に根差した開発援助および緊急支援を展開している。また、日本国内でも東日本大震災の復興支援活動を行っている。